



特集 21年ぶり大雪

地下水保全管理計画／定例市議会／ごみ処理施設の愛称決定／法定外公共物／市の財政状況／市県民税の申告 など

2月号

寒波来襲 21年ぶりの大雪



市職員約80人が出て、市庁舎と和泉支所の屋根雪下ろしを行いました。（12月27日）

これまでの被害状況

今回の大雪の影響で、市内では除雪中の事故や積雪による建物の倒壊が相次いでいます。

一月十九日までのまとめでは、雪下ろし作業中の転落などにより四人が死亡、三十人が負傷。建物の被害は、積雪による住居の一部損壊が二棟、倉庫や工場など非住居の倒壊が三棟、農業用パイプハウスなどの倒壊が六十七棟となっています。

雪害対策本部を設置

市では十二月二十三日、今回の大雪に対応するため「大野市雪害対策本部」を設置しました。雪害対策本部の設置は二十一年ぶり。天谷光治本部長以下、本部員十三人の体制とし、防災関係機関や交通機関、和泉支所、各公民館などと連絡を取り合い、雪に関する情報収集や連絡体制を強化しました。

二十五日には、積雪による建物の

昨年十二月十三日未明からの強い寒波により、県内は昭和五十九年以来二十一年ぶりの大雪に見舞われました。川合の観測地点では積雪が二四一^{センチ}に達し、十二月の積雪記録を五三^{センチ}更新しました。

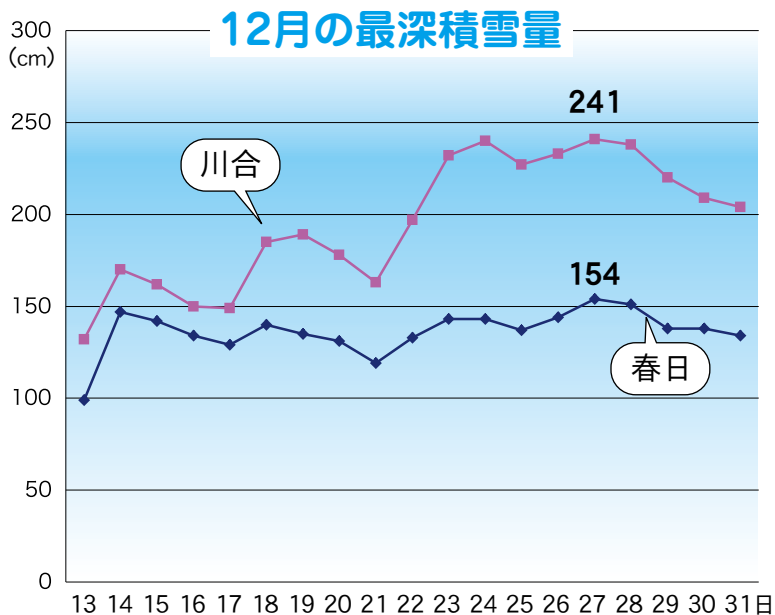
倒壊が相次いだことから、市職員と消防職員三十五人が市内の巡回調査を実施。空き家や空き工場など倒壊の恐れがある建物が五十三件見つかり、近くに民家があり危険度の高い十五件については、所有者に早急な屋根雪下ろしを要請しました。

5世帯18人に避難勧告

十二月二十四日午後七時三十分ごろ、中荒井町二丁目の木造平屋倉庫の一部が雪の重みで倒壊し、建物の破片が市道をふさぎました。

雪害対策本部では残りの建物も倒壊の恐れがあるとして倉庫前の市道を通行止めにし、同日午後十時三十分、近隣の五世帯十八人に避難勧告を出しました。住民は有終会館へ避難しました。

二十七日には残った建物の雪下ろし作業が完了したことから、市・消防・警察が立ち会い、安全確認を行った上で同日午後四時に避難勧告を解除しました。



12月5日から降り始めた雪は13日未明から14日にかけて勢いを増し、川合の観測地点では12月の最深積雪記録188㌢（昭和59年）を19日に更新、27日には241㌢に達しました。春日の観測地点でも27日に154㌢に達し、12月としては観測史上3番目の積雪量を記録しました。12月の経過をみると、14・18・22・26日に積雪量が急増しており、4日周期で大雪となったことが分かります。

なお、春日での観測は昭和55年から、川合での観測は昭和57年から始まっています。



中荒井町二丁目で倉庫が倒壊（12月24日）



雪の山ができた真名川の雪捨て場

12月大雪の記録

12月12日～31日
積雪・気温は春日観測地点

- 12月12日【最深積雪55㌢、最低気温-1.6度】**
 - ・奥越地方に大雪注意報
- 12月13日【最深積雪99㌢、最低気温-0.8度】**
- 12月14日【最深積雪147㌢、最低気温-0.4度】**
 - ・大雪雪害対策準備会議を開催
 - ・雪崩により県道上小池勝原線（東勝原）で通行止め。15日解除
 - ・JR越美北線9本が運休
 - ・小中学校12校が下校時間を繰り上げ
- 12月15日【最深積雪142㌢、最低気温-2.6度】**
 - ・市雪害対策連絡室を設置
 - ・大野高校、大野東高校が休校。小中学校16校が登校時間を繰り下げ
- 12月16日【最深積雪134㌢、最低気温-1.4度】**
 - ・住宅倒壊の恐れが生じたため、住民2人が福祉施設へ避難。18日帰宅
- 12月17日【最深積雪129㌢、最低気温-5.7度】**
- 12月18日【最深積雪140㌢、最低気温-3.0度】**
- 12月19日【最深積雪135㌢、最低気温-2.6度】**
- 12月20日【最深積雪131㌢、最低気温-2.5度】**
 - ・雪崩のため国道158号（下山）で一時通行止

- め。車1台が巻き込まれたが負傷者はなし
- 12月21日【最深積雪119㌢、最低気温0度】**
- 12月22日【最深積雪133㌢、最低気温-2.9度】**
 - ・雪崩のため国道158号（箱ヶ瀬）で一時通行止め。車2台が巻き込まれたが負傷者はなし
- 12月23日【最深積雪143㌢、最低気温-0.3度】**
 - ・市雪害対策本部を設置
- 12月24日【最深積雪143㌢、最低気温-4.1度】**
 - ・雪の重みで工場など建物3棟が倒壊
 - ・錦町の5世帯に避難勧告。27日解除
 - ・雪崩のため国道158号（朝日一岐阜県境間）で通行止め。尼頭1号橋（長野地係）の橋げたが下流側に約90㌢ずれる被害。1月6日解除
- 12月25日【最深積雪137㌢、最低気温-4.5度】**
 - ・空き家、空き工場などの巡回調査を実施
- 12月26日【最深積雪144㌢、最低気温-1.6度】**
- 12月27日【最深積雪154㌢、最低気温-2.1度】**
- 12月28日【最深積雪138㌢、最低気温-5.6度】**
- 12月29日【最深積雪138㌢、最低気温-7.1度】**
- 12月30日【最深積雪138㌢、最低気温-7.7度】**
- 12月31日【最深積雪134㌢、最低気温-4.8度】**

「持続的な地下水の保全と利用の調和」目指して

市地下水保全管理計画を策定

市では限りある地下水を未来へ守り伝えていくため「大野市地下水保全管理計画」を策定しました。この計画は行政、産業界、市民が互いに連携し、地域全体で地下水の保全に取り組むことを目的としています。

地下水位に数値目標

計画では「持続的な地下水の保全と利用の調和」を基本理念に掲げ、水位の保全、水質の保全、地盤沈下の防止の三項目について保全目標を設定しました。（下表参照）

保全目標は、それぞれ短期・中期・最終の三段階に分けて設定。特に水位の保全については、昭和五十年代の水位回復を最終目標に具体的な数値を定めました。

基準となる観測井は、御清水・春日公園・菖蒲池の三カ所。最終目標は、御清水で一・二㍎、春日公園で五・五㍎、菖蒲池で七・〇㍎の水位を達成することとしています。

※水位は地表から水面までの深さを表しています

6本柱で施策を展開

計画では目標達成に向けた施策を▼地下水状況などの監視▼水量の保全▼水質の保全▼地盤沈下の防止▼保全活動の支援・啓発▼開発行為などに対する指針の六項目にまとめました。また行政・産業界・市民がそれぞれの役割を認識することや、上流域と下流域の市民が連携して地下水保全対策に取り組むことの必要性などを示しました。このほか市が行う保全対策に必要な財源は、受益者負担の原則に基づき、市民に協力を求めることもありました。

寄せられた意見を反映

計画を策定するに当たり、市では昨年九月に計画案を公開し、市民の

皆さんから広く意見や提案を募集しました。その結果、三十三件の意見が寄せられ、今回の計画には「表流水の流量確保」に関する項目が盛り込まれました。

またこのほかの意見については、今後具体的な事業を進める上での参考にしていくとしています。

●寄せられた意見

水質に関する数値目標を検討すべき▼定期的に学習会や現場見学会を行っては▼水位データや他市の状況を公表すべき▼水質検査の結果を公表できる仕組みをーなど

普及版を全戸配布など

現在、計画の全文を市役所行政資料室と市ホームページで公開しています。また計画の概要をまとめたパンフレットを二月中旬以降に全戸配布する予定です。

問合せ先 生活環境課環境保全係

（☎66・1111内線463）

ホームページ

<http://www.city.ono.fukui.jp/>

地下水の保全目標

	短期（平成17～21年度）	中期（平成22～31年度）	最 終
地下水位の保全	・各観測井の長期的な低下傾向が止まること	・最終保全目標数値に近づくこと	・最終保全目標数値の達成
地下水質の保全	・有害化学物質による新たな汚染の発生防止 ・すでに汚染された地下水の水質改善	・有害化学物質による新たな汚染の発生防止 ・すでに汚染された地下水が水道水の水質基準に適合	・現状で良質な地下水は水質保持 ・汚染が改善された地下水はその水質が水道水の水質基準に適合した状態で維持
地盤沈下の防止	・観測体制の整備と地盤沈下の発生状況や原因の解析 ・地下水のくみ上げによる沈下が確認された場合の防止策の検討	・地下水のくみ上げによる地盤沈下の防止策を実施	・生活に支障をきたす、地下水のくみ上げが原因の地盤沈下の発生防止

定例会 市議会

地域振興に合併振興基金を新設

一般会計に13億円余りを追加

第三百四十二回定例会市議会が、十二月五日から二十日にかけて開かれました。

九月議会から継続審査になっていた「平成十六年度大野市歳入歳出決算認定について」など十六年度決算認定議案二件を認定。「一般会計補正予算案」や「市合併振興基金設置

条例案」など四十一議案を可決。

「北朝鮮への経済制裁発動を求める意見書」など市会案四件を可決。

「教育委員会委員の任命について」など人事案件一件に同意。「シビックセンター（仮称）までの、安全な通学路等の確保についての請願書」一件を採択しました。

補正予算の概要

一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ十三億二千五百四十二万四千円を追加。補正後の予算総額は百八十四億七千七百四万円、前年同期比で一七・八%の増額となりました。

補正の主な内容は▼合併特例債を活用する合併振興基金の積み立てに十二億円▼身体障害者が日常生活などに必要な訓練を行うための支援事業に一千万円▼平成大野屋前駐車場に観光客用公衆トイレを設置する経費に千七百二十万円▼除雪経費に六千万円▼消防団の全車両にアスベスト対応じんマスクを配備する経費に二十二万七千円▼学びの里「めいりん」に通う児童や施設利用者の安全確保のための通学路整備に三百六十九万七千円▼梅雨豪雨により被災した市道などの復旧に二千七百三十六万二千円一などとなっています。

合併振興基金は今回新たに設置したもので、原則として十年間は取り

崩さず、それ以後に地域住民の連帯強化や地域振興を図る事業の財源に充てることとしています。

そのほか特別会計では、歳入・歳出に八千七百八万九千円を追加。一般会計・特別会計・企業会計を合わせた予算総額は三百九十九億九千八百四十七万九千円、前年同期比で一三・〇%の増額となりました。

48施設の管理者を指定

四月から導入する指定管理者制度の実施に向け、有終会館など四十八施設の管理者を指定しました。公募した十三施設のうち二施設は管理者が変わり、健康保養施設「あつ宝んど」は福井市のイワシタ物産（株）が、麻那姫湖青少年旅行村（中島地区）は（財）大野市公共施設管理公社が管理者に指定されました。

人事案件に同意

教育委員会委員

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について、山川秀氏（五十六歳・伏石）を任命することに同意しました。

公平委員会委員

任期満了に伴う公平委員会委員の選任について、駒原武夫氏（六十八歳・西市）を再任することに同意しました。

臨時市議会

第343回臨時市議会が、1月17日に開かれました。大雪による雪害対策経費の増加に伴う「一般会計補正予算案」など3議案が審議され、いずれも原案通り可決・承認されました。

一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ2億8819万2千円を追加。補正後の予算総額は187億6523万2千円となり、前年同期比で19.7%の増額となりました。

除雪経費に2億5千万円余りを追加

補正の主な内容は▼民間除雪車の借り上げ料など除雪経費に2億5345万2千円▼市が管理する道路消雪施設の経費に84万円▼雪害対策に伴う職員の時間外手当に2770万円▼所有者が管理能力を持たない建物の屋根雪下ろし経費に400万円一などとなっています。

なお、今年度の除雪経費は、1月10日現在で約3億400万円となっており、既に平成16年度の実績（約1億8200万円・旧和泉村分含む）を上回っています。

「ビュークリーンおくえつ」 (ごみ処理施設)

ごみ処理施設・最終処分場の愛称決定

「エコバレー」 (最終処分場)

四月から稼働予定のごみ処理施設と最終処分場の愛称が、公募により決まりました。

採用されたのは、横井直樹さん(勝山市)考案の「ビュークリーンおくえつ」と藤澤あおいさん(勝山市)考案の「エコバレー」です。

横井さんはビュークリーンとクリーンを組み合わせて、藤澤さんは「環境の谷間」をイメージして愛称を名付けました。

大野・勝山地区広域行政事務組合では昨年九月から約二カ月間、市の広報紙などを通じて愛称を公募。応募のあった三十二点の中から、親しみやすさや呼びやすさを基準に愛称を決定しました。

ビュークリーンおくえつ

南新在家に建設中の「ビュークリーンおくえつ」は、大野市と勝山市のごみを一括処理する施設です。可燃ごみを処理する焼却施設と、資源ごみなどを処理するリサイクルプラザで構成され、ごみ処理の仕組みを学習できる体験施設を備えています。

焼却施設

千三百度〜千五百度の高温でごみを溶融処理し、ダイオキシンなどの発生を抑えるよう設計されたガス化溶融炉を二基設置しています。一日に八四トの処理が可能です。

リサイクルプラザ

資源ごみ・不燃ごみ・粗大ごみを処理します。ごみに混入した不純物の除去や金属類の回収などを行う選別機を備え、リサイクルの効率化を図ります。一日に資源ごみで二一ト、不燃ごみ・粗大ごみで一〇ト、合わせて三二トの処理が可能です。

エコバレー

勝山市平泉寺町岩ヶ野に整備を進めている「エコバレー」は、ごみ処理施設から出る灰や陶磁器のくずなどを埋め立て処分する施設です。二五〇〇立方メートルの容量を持つ埋め立て地と、一日に三〇立方メートルの処理能力をもつ水処理設備を備えています。

問合せ先 大野・勝山地区広域行政事務組合 (☎66・6690)

里道・水路が市に譲渡されました 売り払い手続きなど簡単に

国が所有する公共財産のうち、里道や水路などの法定外公共物が市に譲渡されました。

これは、地域住民に関係の深い公共物をより住民に身近な市へ無償で譲渡することで、それぞれの地域住民の要望に応じた管理・運用を進めようというものです。

法定外公共物とは

法定外公共物とは、道路法や河川法の適用を受けない公共物のことです。代表的なものとして、里道や水路があります。

里道 高速自動車道、一般国道、県道、市道を除く道路

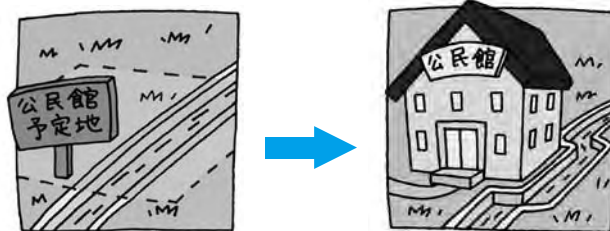
※通称赤筋(あかすじ)と呼ばれる水路 一級河川、二級河川、準用河川を除く河川

※通称青筋(あおすじ)と呼ばれる

許可までの期間が短縮

これまで法定外公共物に関する申請などは、国や県に対して手続きが必要だったため、許可を受けるまでに半年以上の期間が必要でした。

里道・水路を含めたまちづくりが可能に



これまで里道や水路の利用するには、国や県の許可が必要でしたが、今後は市の判断でこれらを含めたまちづくりが行えるようになります。

しかし今後は、これらの手続きが市に一本化されることにより、申請から許可までに要する期間が二カ月から三カ月に短縮されます。

主な申請

●使用や売り払いの申請

●個人所有地と法定外公共物との境界確認の申請

問合せ先 建設課管理係 (☎66・1111内線349)

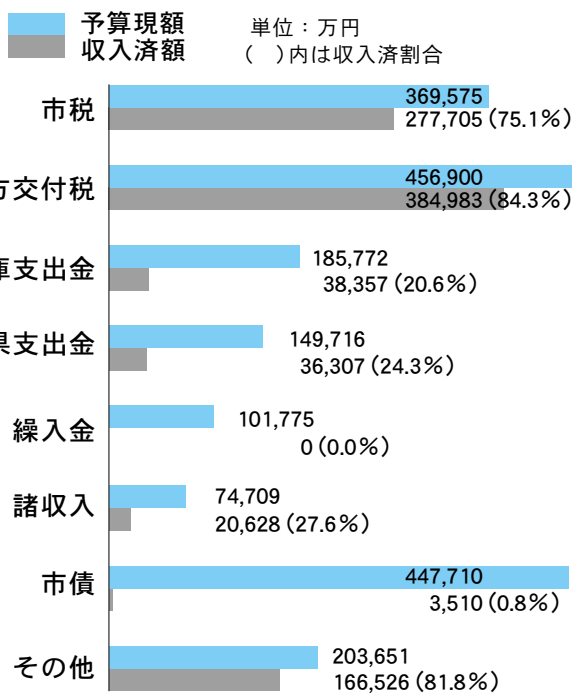
平成17年12月末現在 市の財政状況

市の財政がどのように運営されているのか、皆さんが納めた税金がどのように使われているのかを知っていただくため、平成17年12月末現在の財政状況をお知らせします。
※予算現額には、16年度からの繰越額が含まれています

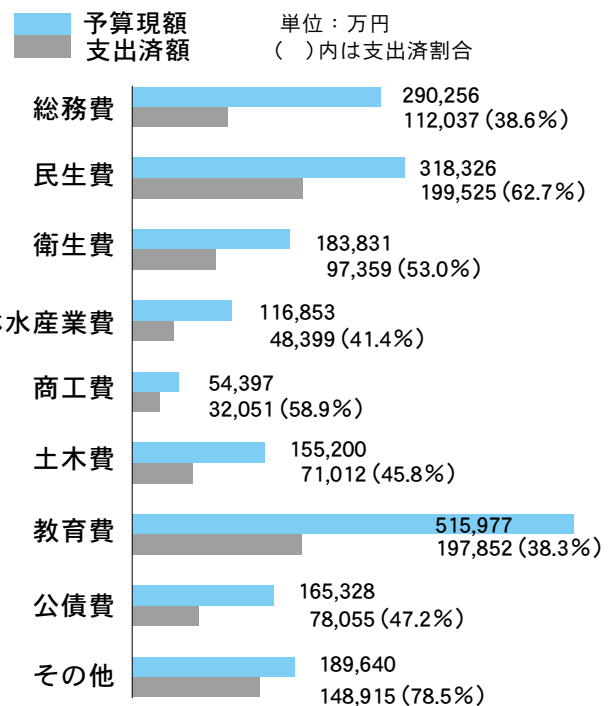
一般会計（予算現額 198億9,808万円）

市の基本的な歳入・歳出を経理する会計で民生費、教育費、土木費などが計上されています。

歳入 収入済額 92億8,016万円



歳出 支出済額 98億5,205万円



特別会計

特定の事業を行うときに、一般会計と区分して経理し、その特殊性を明らかにするために設けられています。

(単位：万円)

事業名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入済割合	支出済額	支出済割合
国民健康保険事業	335,553	204,746	61.0%	223,581	66.6%
老人保健事業	467,587	327,148	70.0%	314,408	67.2%
簡易水道事業	22,104	4,714	21.3%	6,124	27.7%
農業集落排水事業	94,521	22,202	23.5%	36,941	39.1%
下水道事業	163,832	17,396	10.6%	63,036	38.5%
介護保険事業	267,733	170,177	63.6%	172,675	64.5%
和泉診療所事業	4,740	924	19.5%	1,361	28.7%
合計	1,356,070	747,307	55.1%	818,126	60.3%

企業会計

民間企業と同じように、事業によって得た収入で支出をまかなう、独立採算制を原則とする会計です。

(単位：万円)

事業名	予定額	収入		支出	
		収入済額	収入済割合	支出済額	支出済割合
水道事業	29,330	10,037	34.2%	14,566	49.7%

2月13日(月)
3月15日(水)

市・県民税 所得税

申告



市・県民税の申告相談と受け付けを二月十三日(月)から三月十五日(水)まで行います。

これは平成十七年の所得を申告するもので、十八年度の市・県民税や国民健康保険税の基礎となるものです。申告書の提出期限は三月十五日です。忘れずに申告しましょう。

申告が必要な人

- ①平成十八年一月一日現在で大野市に住所があり、十七年中(一月一日～十二月三十一日)に営業・農業・不動産・一時・配当・利子・雑・譲渡などの所得があつた人
- ②給与所得者で、給与のほか①に該当する所得があつた人(給与以外の所得が二十万円以下の場合、確定申告は不要ですが市・県民税の申告は必要です)
- ③所得がある人で、医療費控除や雑損控除などを受けようとする人
- ④十七年中の所得が公的年金収入だけで次に該当する人
- 年末調整を行っていない所得について各種控除を受けようとする人
- 前年末に社会保険庁や共済組合などに現況届で申告した控除対象配

偶者や扶養親族に変更がある人
※市・県民税の申告書が届いた場合は、所得がなかった人もその旨を申告してください

申告が必要ない人

- ①平成十七年中の所得について所得税の確定申告をする人
- ②所得が給与所得だけの人で、勤務先で年末調整をし、勤務先から市役所へ「給与支払報告書」を提出している人

市・県民税申告に必要なもの

- ①印鑑(認印)
 - ②所得の証明となる資料(源泉徴収票、給与明細書、収支内訳書、帳簿、領収書など)
 - ③国民年金の納付証明書、その他社会保険料の領収書など
 - ④生命保険(個人年金保険を含む)と損害保険の控除証明書
 - ⑤本人または扶養親族などが障害者の場合は障害者手帳
 - ⑥配偶者特別控除に該当する場合は配偶者の所得証明書類など
- ※領収書、証明書などは、平成十七年中のものを用意ください

所得税の確定申告

《確定申告 自分で書いて お早めに！》

●申告と納税は期限内に

申告と納税の期限 所得税＝3月15日(水)、消費税・地方消費税＝3月31日(金)

●振替納税の利用を

振替納税の振替納付日 所得税＝4月20日(金)、消費税・地方消費税＝4月27日(金)

●インターネットの活用を

自宅のパソコンで確定申告書が作成できます

金沢国税局のホームページ(<http://www.kanazawa.nta.go.jp>)の「確定申告書作成コーナー」で、所得税、消費税(個人)の確定申告書や青色申告決算書、収支内訳書などが作成できます。確定申告書などを印刷し、押印の上、添付書類とともに税務署に提出ください。

e-Tax(国税電子申告・納税システム)

自宅やオフィスからインターネットを利用して、国税の申告・納税・申請・届け出などが簡単にできます。詳しくはe-Taxのホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)またはヘルプデスク(☎0570・015901)で確認ください。

問合せ先 大野税務署(☎66・2180)

申告相談と受け付けの日程

(受付時間 午前9時～午後4時)

月	日	会 場
2	13	市役所談話室 大納地区集会施設 下山地区集会施設(午後)
	14・15	市役所談話室
	16・17	農業所得 J A テラル越前上庄支所
	20～24	確定申告 J A テラル越前本所
	27・28	市役所談話室
3	1	下庄公民館
	2	庄林会館(午前) 南六呂師集落センター(午後)
	3	乾側公民館(午前) 小山公民館(午後)
	6	富田公民館
	7	上庄公民館
	8	蕨生集落センター(午前) 木本集落センター(午後)
	9	阪谷公民館
	10	五箇公民館(午前)
	12	市役所談話室
	13～15	市役所談話室・和泉支所

問合せ先 税務課市民税係(☎66・1111内線423)

健康 だより

健康おおの21
今月のキャッチフレーズ
「味つけにひと手間
かけて健康家族」

塩分控えめ、野菜はたっぷり



「健康おおの21」推進の一環として、四十歳～六十五歳の千二百八十五人にアンケート調査を行いました（回答率九一・四％）。その中の食事に関する結果をお知らせします。

男性31%が塩分を取り過ぎ

次の八項目の質問で四点以上に該当する人を、塩分の取り方に改善が必要と判定しました。

- ①みそ汁を一日二杯以上飲む（二点）
- ②塩魚など塩漬けの食品を週三回以上食べる（二点）
- ③味の付いた料理にしょうゆやソースをかける（二点）
- ④煮物の味付けが濃い（二点）
- ⑤めん類の汁をほとんど飲む（一点）
- ⑥漬物にしょうゆをかける（一点）

- ⑦漬物を一日二回以上食べる（一点）
- ⑧ポン酢・レモン・からし類などをよく使う（マイナス一点）

今回の調査では、男性の三一・〇％、女性の一五・六％が塩分を取り過ぎていたとの結果が出ました。平成十二年（男性五七・二％・女性三五・三％）と比べると改善がみられますが、男性はまだ塩分を取り過ぎていたことが分かります。

野菜を食べる人が増加

緑黄色野菜を毎日食べる人の割合は、平成十二年の十五・六％から一九・八ポイント増加し、三五・四％になりました。野菜の必要摂取量は一日に三五〇g（生で両手二杯分）といわれています。そのうち、緑黄色野菜は一二〇g程度、生で片手に二杯分が目安とされています。

健康づくりは食事から

よくかんで食べることは消化を助け、食べ過ぎを防ぎます。また、たくさん食材を使った料理を目で楽しむことは、食事をさらにおいしくしてくれます。食べることや素材に関心を持ち、毎日の食事から健康づくりに取り組みましょう。

読書のススメ



『地震に強い家に住みたい』

保坂貴司 著
暮らしの手帖社 刊

地震の被害をできるだけ小さくできるようにと、木造住宅の施工現場から提案された本を紹介します。工務店の代表取締役を務め、耐震補強や耐震診断の専門家でもある著者が、地震に強い家・弱い家、正しい耐震診断のポイントなどを豊富な経験と事例から説明しています。

平成7年に起きた阪神淡路大震災では、13万棟の家屋が倒壊し、6300人余りの人が亡くなりました。本書ではこの悲惨な被害を繰り返すことがないように、正しい耐震補強を行うことが必要だと述べています。建築の専門的な知識は難しそうですが、大切な命と家を守るため、基本的な知識は得ておきたいものです。

新着図書

【一般小説】

いまを生きるちから（五木寛之）夢のなか（北原亜以子）えんじ色心中（真梨幸子）剣客春秋 恋敵（鳥羽亮）狐官女（澤田ふじ子）マダム毛沢東（アンチ・ミン）スープ・オペラ（阿川佐和子）

【ファンフィクション】

オトナのための漢文51（栗田亘）法廷絵師は見た！（大橋伸一）唐招提寺 匠が挑む（玉城妙子）シヨージ君の養生訓（東海林さだお）「二一」支援マニュアル（工藤啓）

みんなの図書館

【児童図書】

すすにまみれた思い出（アンソニー・ヒル）恋がいつぱい（星新一）声のトレーニング（福島英）やまんばあさんの大運動会（富安陽子）そばかす先生のふしぎな学校（ヤン・ブジェフバ）

【絵本】

ありがとぅへんてこライオン（長新太）魔術師アブドゥル・ガサツィの庭園（C・V・オールズバーク）おふとんのくにのこびとたち（でくねいく）こしょうできまり（ヘレン・クーパー）その他、二百五十七冊入りました。

市民のページ

● あなたも紙面に参加しませんか。希望する人は、情報広報課広報広聴係まで
☎ 0779・66・1111（内線441）

元気な子に育って

わんぱくキッズ

ぐるーぷ登場



毎週金曜日の午前中、上庄公民館で活動する子育てサークルがあります。それが「わんぱくキッズ」です。

上庄公民館で月一回開かれていた「子育ておしゃべり教室」に参加していた就園前の子供を持つ母親メンバーが、教室開催日以外にも集まろうと平成十年に結成しました。

「わんぱくキッズ」の活動として、公民館を利用して工作やスポーツ、クリスマス会などを開いたり、花見や遠足など、親子で楽しめる企画をみんまで考えて実行したりしています。「この会ができた時にいた子が今年小学生になりました。結成十周年の記念イベントを今から企画しなければいけませんね」と早くも盛り上がりつつあります。

メンバーは現在十二人。皆さん仲が良く、いつも笑いが絶えません。「日ごろ家の中で子供を見ていると、ストレスを感じたり、悩んだりしてしまいます。でもここに来て悩みを仲間打ち明けられることで、自分が悩んでいたことがとても小さいことに感じられるんですよ」子供にとって母親が元氣であることは何より大事なことです。

「週一回ここでみんなに会って楽しくおしゃべりすることはとても大切なことだと思います」。

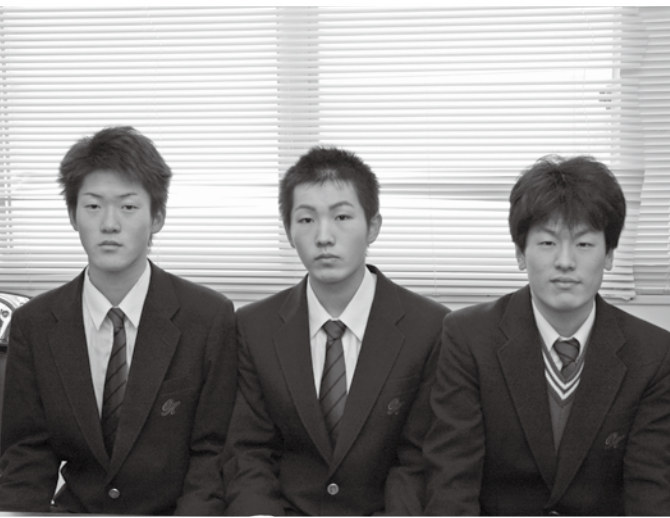
おしゃべりの内容は子育て



上庄地区は田園風景が広がり、日本百名山の荒島岳などの大自然に囲まれています。その中で「環境にも恵まれているこの地で、無理をせず、今までどおり活動が続けていきたい」「気楽に友達づきりと思つて来てもらえれば」と話すメンバーの皆さん。

わんぱくキッズでは上庄地区にこだわらず、就園前の子供を持つ母親の参加を募集しています。詳しくは上庄公民館（☎ 64・1200）まで問い合わせください。





松本 和也さん（写真左）
麻生 貴裕さん（同中）
山内 誉裕さん（同右）

大野東高校 3年

3人は合格率が例年10%前後と言われる国家試験「第3種電気主任技術者」に合格しました。

この資格を取得するには、3年以内に理論・電力・機械・法規の4科目すべてに合格しなければならず、放課後や早朝を利用して学校で開かれた補習を中心に猛勉強したそうです。

試験に臨んだ気持ちや合格の喜びを聞きました。

——なぜこの資格をとろうと思ったのですか
 学校に入学する時から入りたい会社があって、

難関の国家試験にそろって合格
 それぞれの道で生かしたい

こんにちは

そこで生かせる資格だと思いました（松本）。将来使える資格なので、ほかの資格も含めて在学中にできるだけ取ろうと思っていました（麻生）。

——全員2年生の時も受験したそうですね

「理論」だけしか受からなかったもので、それからはほかの3科目の勉強時間を増やしました（山内）。2年の時は部活動に参加して補習を受けられなかったので全科目駄目でした。その後は授業である程度出てくる「理論」は自分で勉強し、ほかの3科目は補習で勉強しました（松本）。

——“合格”はどのように知りましたか

インターネットを利用して知りました。合格したと分かった時は飛び跳ねて喜びました（松本）。結果が送られてくる前に模範解答で自己採点して駄目だと思っていました。合格通知を見てびっくりしました（山内）。

——進路は決まりましたか

自分が希望する電力会社に就職することができたので、この資格を生かしていきたいです（松本・麻生）。僕は地元の大学に進学するので、さらに勉強していきたいです（山内）。

——同じ資格取得を目指す後輩に一言

受かりたい気持ちを大事にして勉強してほしいです（松本）。自分のしたいことをある程度犠牲にしても絶対に受かるんだという意気込みで取り組んでほしいです（麻生）。補習は大事なので、先生の話をよく聞いてほしいです（山内）。



「六呂師レーシングというスキートームに所属しています。去年四位だった大会に今年も出て、三位以内に入りたいです」



阪谷小学校 4年
 北川 遼さん



乾側小学校 4年
 盛川 輝さん

「野球で県大会に出場したい。そのために、監督から言われている守備や打撃のフォームを練習したいです」

「昨年から書き続けている一人旅の小説を仕上げて、コンクールに応募したい。最終予選には残りたいです」



小山小学校 6年
 畑中 未来さん



有終南小学校 1年
 渋谷 竜斗さん

「ばばぬきや神経衰弱など、トランプで友達に勝ちたい。友達に披露するため、手品にも挑戦していきたいです」

新年を迎えた「大野っ子」に、今年やりたいことや成し遂げたい夢などを聞きました。

いきいき大野っ子



お知らせ

●大野市役所・大野市教育委員会 ☎0779・66・1111
住所 〒912-8666 福井県大野市天神町1-1

各種スポーツ大会の参加者募集



- 第14回市スノーボードジギル大会
日時 2月26日⑨午前9時～
場所 エキサイト広場
対象 小学生(3年生以上)
種別 小学5・6年男子の部、全学年混成の部
定員 各部16チーム(先着)
参加料 1人50円
申込締切日 2月10日⑨
申込・問合せ先 教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線532)
○大野クロスカントリースキージュニア選手権大会
日時 2月26日⑨午前9時～
- 場所 IZUMIKROSSカントリースキー場
対象 市内小・中学生
種別 個人戦7部門(学年別・男女別)
参加料 1人1000円
申込締切日 2月10日⑨
申込・問合せ先 寺西重朗(☎65・8224)
○第14回大野市民綱引大会
日時 3月5日⑨午前8時15分～
場所 エキサイト広場
対象 市内に在住または勤務している16歳以上の人(高校生は除く)と市内小学生(3年生以上)
種別 男子の部、女子の部、混成の部、ジュニアの部
チーム編成 12人以内(ジュニアの部は14人以内)
※綱引経験者は1チーム1人まで。ただし混成の部は男女1人ずつ可
参加料 無料
申込締切日 2月23日⑨
申込・問合せ先 市綱引協会事務局・金森幸治(☎66・3691)
○九頭竜スキー選手権大会
日時 3月5日⑨午前9時～

- 場所 九頭竜スキー場
対象 小学生以上
種別 大回転(スノーボードの部、アルペンの部)
参加料 3000円(小・中学生は1000円)
申込締切日 2月20日⑨
申込・問合せ先 教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線532)
○IZUMIKROSSカントリースキー大会
日時 3月12日⑨午前9時～
場所 IZUMIKROSSカントリースキー場
種別 小学生の部、中学生の部、一般の部、ビギナーの部
参加料 2000円(高校生1500円、小・中学生1000円)
申込締切日 2月24日⑨
申込・問合せ先 教育委員会スポーツ課(☎66・1111内線532)
○大野市民卓球大会
日時 3月19日⑨午前8時45分～
場所 エキサイト広場
対象 原則として市内に在住または勤務している人

- 種別 「第一部 高校・一般男女シングルス(代表選手など)」「第二部 中学生男女シングルス」「第三部 小学生男女シングルス」「第四部 男女ダブルス(小・中・高校一般)」「第五部 男女ラージボール」
参加料 無料
- 申込方法 所定の申込書に記入し、大野高校(勤務先)まで直接またはファクスで
申込締切日 3月3日⑨
申込・問合せ先 大野市卓球協会・芦原邦弘(☎66・3411 ㊤66・4329)

グラウンド利用日程の調整会議を開催

「市民グラウンド」「真名川憩いの島」「ふれあい公園」を円滑に利用するため、利用団体の日程調整を行う連絡調整会議を開催します。平成18年度中に各グラウンドを利用する予定のある団体は必ず出席してください。

日時 3月10日⑨午後7時～

場所 有終会館

その他 ○参加希望の団体は「使用予定日申告書」に利用予定日を記入し、2月24日⑨午後5時までに提出(用紙は有終会館にあります)

○利用予定日の変更をお願いする場合があります。会議には必ず団体の責任者が出席してください

申込・問合せ先 大野市公共施設管理公社(☎65・8766) 〒912-0084 大野市天神町1-19(有終会館内)

※問い合わせは午前8時30分から午後5時の間にお願いします

消費生活モニター募集

市では、消費者行政の効率的な推進を図るため、消費生活モニターを募集します。

消費者問題に関心がある人の応募をお待ちしています。

応募資格 市内在住の20歳以上の人

任期 平成18年4月から1年

定員 15人

謝礼 なし

主な活動内容

- ・消費者からの相談、苦情の受け付け、処理
- ・不当な表示、過大な景品、危険な商品、訪問販売などの通報、監視
- ・消費者行政への意見、要望の提出

※そのほか、意見交換としてモニター懇談会を随時開催します

申込締切日 3月15日(※)

申込・問合せ先 生活環境課民生生活係
(☎66・1111内線465)

国民年金

保険料免除制度や学生納付特例制度を利用した期間がある場合、保険料を全額納付したときと比べ、将来受け取る年金額が減額されます。

その免除や特例を受けた期間の保険料は、さかのぼって納める(追納)ことができます。

追納できる期間は免除を受けた月から10年以内で、2年以上が経過している場合は、経過期間に応じた額を加算し納めることになります。

問合せ先 福井社会保険事務所
(☎0776・23・1002)

市民のうごき

	1月1日現在	前月比
世帯数	12,305世帯	-8世帯
人口	39,813人	-36人
内 男	18,987人	-29人
訳 女	20,826人	-7人
12月中の異動	転入 51人	出生 26人
	転出 65人	死亡 48人

はがき・年賀状などの回収箱を設置



地球環境の保護に少しでも役立てるため、古いはがきや年賀状を回収するポストを設置しています。皆さんのご協力をお願いします。

設置場所 市役所、市内の各郵便局

設置期限 2月28日(※)

※大野・中野・元町の各郵便局では通年設置しています
その他 写真入りは回収できません。個人情報の取り扱いに注意します

「暴力のないまちに」市民大会を開催

暴力追放大野市民会議

現在、暴力団の活動は沈静化していますが、今後も暴力のないまちを目指し、市民大会を開催します。

日時 2月20日(金)午後7時～

場所 有終会館

内容 優良団体の表彰や県警察本部による講演など

問合せ先 総務課行政係(☎66・1111内線245)

悪質商法防止 若者電話相談を実施

生活環境課

県消費生活センターに寄せられた苦情相談の18%が、社会経験の乏しい30歳未満の若

2泊3日スキー講習 受講生を募集

大野市スキー連盟

日程 3月17日(金)～19日(日)

※17日(金)午後7時に出発

場所 野沢温泉スキー場(長野県野沢温泉村)

定員 20人(先着)

「家庭での看護方法」受講生募集



赤十字奉仕団では、家庭で誰でも簡単にできる看護方法などを学ぶ無料講習会を開催します。

日時 2月21日(火)午前9時30分～午後3時30分

場所 市役所中会議室

定員 30人(先着)

申込締切日 2月16日(※)

申込・問合せ先 福祉課社会福祉係(☎66・1111内線471)

受講料 2万5000円(リフト代・食事は別)

申込締切日 2月17日(金)

その他 集合場所は参加者に後日連絡します

申込・問合せ先 クローバー

スキークラブ事務局・加藤嘉一(☎090・8701・3356)





トレモロファミリーコンサート（12月10日）
歌が好きな市民が集まり2004年4月に結成した「トレモロ」。2回目のコンサート。



混声合唱団「清ら」コンサート（12月11日）
歌が好きな奥越の市民が集まり2005年4月に結成した「清ら」。今回が初のコンサート。

「平蔵」でコンサートいろいろ



木のぬくもりぬくぬくコンサート（11月27日）
今回で7回目。バイオリン・ファゴット・ハープによる演奏会。



平蔵ふれあいコンサート（12月3日）
マリンバとピアノの演奏会。ふれあいコンサートは活動が5年を経過し、今回で一区切り。



「今シーズンもよろしく」

人力車を運行する「越前こぶし組」のメンバーが12月25日、人力車の清掃と正月飾りの設置を行い、平成17年の営業を終了しました。10周年を迎えた昨年は、11月に朝日小学校児童を乗せた「大和巡行」を行うなど80回出動しました。今シーズンは、来月の春分の日から営業を再開する予定です。



話題のひろば



「旧橋本家」12月の雪下ろし

12月22日、宝慶寺にある国の重要文化財「旧橋本家住宅」の屋根雪下ろしが行われました。12月中の実施は過去に例がなく、今冬の大雪のすさまじさを実感。2mを超える積雪から文化財を守るため、市職員など10人は懸命に雪かきをしていました。

“ニュースポーツ”で交流

市内で活動するスポーツ少年団の団員が、競技種目や団体の枠を超えて交流する「スポーツ少年大会」が、12月10日にエキサイト広場で開かれました。柔らかいフリスビーを使用し、ドッジボールのルールで競技するニュースポーツ「ドッジビー」に、市内の少年野球やバレーボールなどの団員約90人が参加。不安定なフリスビーの動きに戸惑いながら、チーム一丸となってぶつけ合っていました。



かるたとり“ハイッ”

今月開かれる本選大会への出場をかけたふるさとかるたの地区予選が市内10カ所で開催されました。使用するかるたには大野の観光、人物、自然が描かれています。参加した子供たちは、“ハイッ”と大きな声を出しながらかるたを取っていました。

「まちづくり活動」発表し合う

大野と勝山両市のまちづくり活動を発表し合う「ふるさとづくり大会」が12月10日、有終会館で開かれました。当市からは弥生町2区と春日野地区町内会が実践活動の成果を発表。参加者はメモを取りながら聞き入っていました。



表紙のこぼ

20歳の門出を祝う成人式が、1月8日に文化会館で開かれました。合併後初となる今回は、和泉地区からも5人が参加。会場には華やかな振りそでやスーツで着飾った445人の新成人が集い、大人としての自覚と決意を新たにしました。式典では天谷光治市長が「20歳は大きな節目の年齢。ふるさと大野に誇りと愛着を持ち、果敢にチャレンジする市民になってください」と激励。続いて新成人代表の山田幸子さんが壇上に上がり、参加者全員で市民憲章を唱和しました。式典後には、数年ぶりの友人との再会を喜び、記念撮影や会話を楽しむ姿が会場のあちこちで見られました。市内の新成人（昭和60年4月2日～61年4月1日生まれ）は昨年より4人少ない513人。

編集後記

雪への備えには慣れているはずの当市でも、意外と知られていないのがプロパンガスの雪対策です。消防署によると、屋根雪の自然落下や雪下ろしの際に、軒下に置いてあるガスボンベの配管が破損し、思わぬガス漏れ事故が発生する恐れがあるとのこと。「56豪雪」の時には、県内で1280件ものガス漏れ事故が発生しました。ガスボンベを板で囲うなど雪対策をお忘れなく（竹田）

いずみ探訪



このコーナーでは、和泉地区の観光スポットや、名所・旧跡などを紹介します。

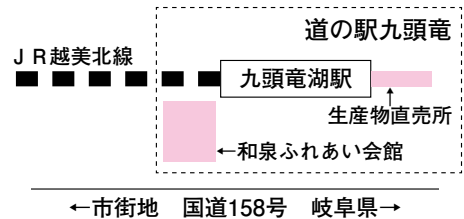


【概要】

J R越美北線の終点、九頭竜湖駅周辺は平成6年4月26日、道の駅「九頭竜」に指定されました。道の駅とは、24時間利用可能なトイレや駐車場を備えた「休憩機能」、地域の情報ステーションとしての「情報発信機能」、道の駅をきっかけに地域づくりに取り組む「地域の連携機能」の3つの機能を持つ休憩施設のことです。和泉ふれあい会館では、観光名所や交通情報をお知らせしています。生産物直売所では、旬の特産品やマイタケ弁当などを取り扱っています。ぜひ一度お立ち寄りください。

【アクセス】

市街地から約30分。国道158号沿い。
J R越美北線九頭竜湖駅隣接。



道の駅九頭竜（和泉ふれあい会館・生産物直売所）
（和泉ふれあい会館 電話 78・2300）



お正月気分もすっかり抜け、暦には早くも立春の文字が躍る。とはいえ、まだまだ外は冬色。軒下のつららが夜中にこ

っそり背伸びすることもしばしば▼暖冬と高をくくっていたが、昨年末のドカ雪には往生した。しかし、スキー場にとつてはまさに安定したシーズン。連日、スキー客で白銀の世界は華やかに染まる▼県内屈指のスキーどころである当市。子供たちもスキーとは縁深い。アルペン・クロスカントリーともにこなせる好環境とあって競技人口も多く、これまでたくさんのお名選手を輩出してきた。中高生ともなると、雪のシーズン以外は野球や陸上などに励み、冬場はスキー競技に転身するケースも少なくない。雪国ならではのスタイルである▼スキーシーズンは短く、選手たちは正月返上で雪山に繰り出す。スピードを競う花形のアルペンに比べ、クロスカントリーは持久力を武器に距離を延ばしていく地味な競技。氷点下の雪上では時に肩やまっげも凍り付くほど▼「少々のことではへこたれなくなつた」「今の自分の大きな底力になっていく」とは、競技経験者の生徒たちの談。スキーで培った粘り強さと自信が、未来を開いてゆく原動力にもなっている▼トリノ五輪もいよいよ開幕。日夜、練習に励む地元のアスリートに思いをはせながら、トリノのアスリートたちの妙技を楽しみたい。大雪に泣かされた分、笑顔でこの冬を締めくくりたいものだ（羽生）